



わくわくレポート121号

杉並区議会議員
杉並わくわく会議代表

松尾 ゆり

2009. 12. 10. 発行

連絡先:

杉並区下井草1-25-36

tel&fax 03-5930-3181

ホームページ:

<http://www.suginami-waku2.net/>

セシオン杉並の賃金未払い事件と民間委託

～本会議で質問しました～

雇用・経済情勢が悪化しています。失業率は5%台、全国で300万人が失業、さらに企業内失業が600万人ともいわれます。中小企業の経営も困難を深めています。このような状況も踏まえ、特に雇用に関連して行政のありかたを質問しました。



事件は区に責任が

セシオンなどの職員約30人に対し、**賃金2か月分未払い**のまま倒産した東宝クリーンサービス社は、2年ほど前から財務状態が悪化し、安値で入札を繰り返しては、その委託料を資金繰りに当てるという**自転車操業**的な経営状態に陥っていました。こうした実態を見抜けず、安いからと契約して、これらの施設で働く皆さんに損害を与えた区の責任は重大です。

「働く人の生活は成り立つのか!？」

9月に全国で初めて「**公契約条例**」(行政が民間に仕事を発注する際の賃金水準などを定めた条例)を制定した**野田市**の市長はインタビューに答えて、「私自身も、入札価格が極端に下がっていることは感じていた。それが公共サービスの**質の低下、安全性の軽視**につながるのか、働く人の生活は成り立つのかという危機感を抱いていた。**官製ワーキングプア**を行政がつくり出すことは、好ましいことではないし、まわりまわって住民サービスの劣化にもつながる」と語っています。**入札価格の低下**は労働者だけでなく事業主にも深刻な問題です。杉並区でもこの問題にきちんと向き合ってほしいと思います。

行政の責任で賃金水準の確保を

杉並でいっきに条例とはいかなくとも、制度の改善で労働条件をよくすることはできます。

たとえば熊本市では、指定管理者(行政に代わって施設を運営する)の民間企業に対し、**人件費のモデル**を示しています。また、板橋区は「**官準拠の賃金水準**」

を求めていくという方針を発表しました。

千代田区では「**労働モニタリング制度**」を設け、指定管理者すべてに対し、社会保険労務士など専門家を派遣し、就業規則から、賃金、労働時間、社会保険などについて、雇用されている当事者への聞き取りなど詳しく調査を行い、問題があれば改善させています。

杉並区もやってみてはどうでしょう。

清掃の民間委託では死亡事故も

区でおきた事故ではありませんが、9月には品川の清掃工場で21歳の若者が機械に巻き込まれて亡くなるという悲惨な事故が起きました。この方は民間委託先の派遣社員でした。

民間委託の現場では、賃金の問題どころか、命までも奪われるようなことすら起きているのです。こうした事件をもふまえ、区は民間委託に関して慎重姿勢に転ずるべきです。

ゆり発「減税自治体構想」ホントにやるの!？」

先日の「広報すぎなみ」に大きく出ていたので、きっと皆さんごらんになったでしょう。「減税自治体構想」。山田区長が2年前の選挙の公約としてかかげたものです。

- ①毎年150億円(杉並区の一般会計予算の約1割)を貯金していく。
- ②そのお金を運用し、利子で住民税を減税する。
- ③10年後に10%減税。20年後に15%減税。…78年後に無税に。

というストーリーですが、どう思いますか?

「そんなにお金があるなら今減税して!」あるいは「そのお金で保育園をばんばん建てて!」「区がもっと人を雇って雇用を生み出して!」等々、もっと有効な使い道がいくらでもありそうです。

この経済危機の時代、お金を貯めておいて利子がどんどんつくわけはありません。むしろ金融資産をふくらませることは危ないのでは? だいたい税金は公共サービスに使うために集めているはず。それを何千億もひたすら貯金するのはルール違反です。

「**減税基金設置に関する意見募集**」は12月31日までです。ぜひご意見をお寄せください。